

# 令和7年度 泉区地域と学校をつなぐ研修会（報告）

7月2日（水）根白石市民センターにて「泉区地域と学校をつなぐ研修会」兼「第2回学びの連携研修」が行われ、泉区内の地域連携担当教員や多くの地域団体の方に参会いただきました。

教育局職員や校長先生、地域団体の皆様からの話を聞いたり、団体同士が一つのテーマをもとに話し合いながら交流を図ったりと大変学びの多い研修となりました。

この研修の機会を生かし、今後も学校や市民センター、地域団体で協働し、子どもたちの学習機会の拡充や団体間の連携促進を一層推し進めていただければと思います。

## 1 参加者

所 属	人 数	所 属	人 数
小・中・高等学校 （内嘱託社会教育主事）	50 （9）	学校支援地域本部	28
市民センター	14	学校運営協議会	2
子育てふれあいプラザ	1	子ども会育成会	1
行政関係各課	19	児童館・児童センター	10
		地域で活動する各種団体	2

計 127名

## 2 内容

【開会行事】 進行：荒木 美香（鶴が丘小学校 教諭）

挨拶：嘱託社会教育主事研究協議会泉区部会顧問

石川 智之（七北田小学校 校長）

泉区まちづくり推進部泉区中央市民センター長

古城 雅子



石川 智之 顧問



古城 雅子 センター長



講師紹介

### （1）全体研修

○「地域連携担当教員の役割」 学びの連携推進室主任指導主事

遠藤 嘉文

○「みんなで取り組む地域学校協働活動」 生涯学習課主査

金光寺智士



遠藤主任指導主事

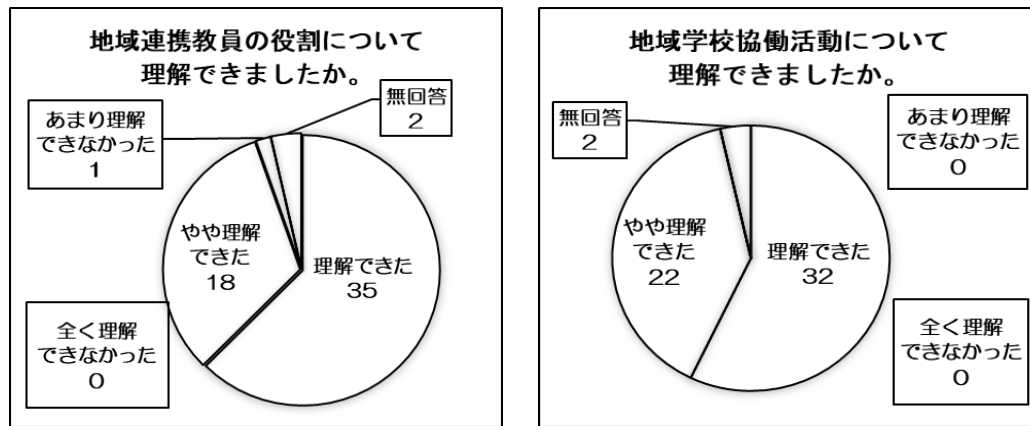


金光寺主査



参加者の方々

☆参加者アンケート結果☆



(2) グループ研修Ⅰ（実践発表等）

「遊びでつながる子育てプロジェクト」（根白石市民センター大人事業企画員）



市民センター大人事業の一環として、子育て中のお母さん3名が企画員となり、遊びを通じて子育て世代や地域の方々が交流できる活動を行っています。

（参加者アンケートより）

「住んでいる人が住んでいる人を大切にしている」という言葉が印象的でした。こどもを信じる力、育てるという強い思いを持って、日々子どもと接していきたいと思います。

「こどものこどもによるこどものための児童館を目指して」（住吉台児童センター）

「やってみようBOX」を活用し、こどもが主体的に関われる活動を展開しました。地域とのつながりを大切にしながら、こどもを真ん中に据えた取り組みを目指しています。

（参加者アンケートより）

こども主体の活動が素晴らしいです。こどもたちが自分の考えを発信できるようにするためには、大人の「こどもの気持ちを尊重する」姿勢が大切であると感じました。



「将監中央小おやじの会の軌跡」（将監中央小学校おやじの会）



10 年前に発足した「おやじの会」。地域の様々な方との出会いと協力を得ながら、「防災キャンプ」を実施するなど活動の幅を広げ、発展させてきました。

（参加者アンケートより）

大変興味深かったです。活動の中で「対話」を大切にされていることが分かりました。「対話」のスキルを持つことが、持続可能なまちづくりに繋がっていくと思います。



「地域の企業を巻き込め！」（七北田小学校支援地域本部）

学校と地域が一丸となって作り上げる「七小ゆめフェスティバル」。子どもたちの笑顔のために、多くの困難を乗り越えながらビッグイベントに発展させました。

（参加者アンケートより）

講師の方のSVとしての情熱と日々の活動に感銘を受けました。なかなかまねできることではありませんが「私たちもやらねば！」という気持ちになりました。



「地域連携教諭～どする？こする？～」（市名坂小・教育局）



「地域連携教諭の役割は？」「どのように連携を図ったらいい？」など参加者の疑問や感想などに対して、講師3名がリアルタイムで答えました。

（参加者アンケートより）

地域連携教諭としての経験談など、それぞれの立場からお話いただき、大変参考になりました。市民センターとの連携など今後に生かしていきたいと思います。

（3）グループ研修Ⅱ（中学校区グループワーク）

中学校区ごとに分かれて「地域の子どもたちのためにやってみたいこと」をテーマに情報交換を行いました。



（参加者アンケートより）

- 普段の活動に生かせる地域情報を吸い上げられることができ、また顔見知りになることで、今後連携する機会ができたときの心の障壁がなくなったことがとてもありがたかったです。
- 地域に愛着をもつ子どもたちが将来に渡って育ち、他地域に行っても、連携を構築できる人材育成をしていかなければならないと感じました。
- 地区別グループワークはより密に交流できて良かったのですが、他の地域の課題やどんな話題が出たのか知りたいとも思いました。より泉区全体の地域性や課題が分かり研修会の全体像が分かります。
- 担当地区の学校の先生や市民センターの職員さんと顔を合わせる機会となり、様々な立場から見た「地域」「子どもたちの現状」を情報共有することができたことが大変有意義だった。グループワークメンバーが少数だったことで、より濃い意見交換ができたと感じた。

(1) 地域の子どもたちが、こうなっていきたい！	(2) 地域の子どもたちのためにやってみたいこと（継続したいこと）	(3) その他 話題になったこと
北小…地域の人が少ない。→地域を 年齢層で分けて、考える。 中…地域のことを分けていない。→防災を 親子の会合で分けて、考える。 西…地域の人が少ない。→防災を 親子の会合で分けて、考える。 南…自己主張の多い子ども。→コミュニケーション の力を考える。 東…地域交流が少ない。→今のまま でいい。 北小…地域の人が少ない。→今のまま でいい。 中…地域の人が少ない。→今のまま でいい。 西…地域の人が少ない。→今のまま でいい。 南…地域の人が少ない。→今のまま でいい。 東…地域の人が少ない。→今のまま でいい。	北小…防災活動、中学校と連携 地域行事に周知していく。 中…防災活動（地域人材に 関わってもらうこと） 西…学びのコミュニティ、大人も子ども 参加できる。 南…加えて、次につなげていく。 東…防災活動→次にできる、地域 活動を考える。 北小…（相手を見つめる）→は、いかにつな ぎ、継続活動（成長）していく。 中…子どもも参加している。 西…子どもも参加している。 南…子どもも参加している。 東…子どもも参加している。	防災→区役所（ヒートマップ ↑ 参加が難しい） 相談。

グループワーク記録（南中山中学区）

中学校区グループワークの記録がご覧になりたい方は、こちらからお入りください。

すべてのグループの記録がご覧いただけます。



【閉会行事】進行：荒木 美香（鶴が丘小学校 教諭）

挨拶：嘱託社会教育主事研究協議会泉区部会部長 鈴木 峻（将監中央小学校 教諭）

☆参加者アンケートより～Q本研修の持ち方や内容について感想、意見があればお答えください～

- ・地域連携の働きについて知ることができました。他校、他地域の現状を知ることができた事例発表や情報交換は今後の連携に大変役に立つ研修の機会となりました。
- ・色々な分野の皆さんとお話しができて良かったです。これからの支援活動に役立てていきたいと思いました。
- ・グループワーク参加者から「気持ちが前向きになった」との声がありました。企画運営大変だったと思いますが価値ある研修だったと感じます。
- ・学校支援本部の皆さんが、熱意をもって取り組んでいることが本当に素晴らしいと思います。「地域学校協働活動」の意義が「地域づくり」であり、地域にとってもメリットのあることだと浸透すれば、さらに地域の中に協力者も増えそうだと感じました。
- ・今回児童館が入り、学校以外での様子が知れたのは良かったです。こどもたちは失敗をしてでもいいから色々な体験を通して成長してくれたらと思います。
- ・全体会が行われた体育館は気温が高く、集中して話を聞くことができませんでした。エアコンが効く部屋に分散してミートで行うなどもう少し配慮していただけるとありがたいです。
- ・各施設単位の活動に留まらない連携が必要だと感じたため定期的な開催を希望します。
- ・全体のボリュームに対して、時間が少ないように思います。このボリュームなら午前中から始めた方が良く、今回の時間で行うならボリュームを絞る方が良く考えます。
- ・全ての研修内容をビデオで残し、ホームページで公開した方が、より多くの方々（こういった活動に関与していない方を含む）に、この活動を広めることが可能と考えます。

アンケートへのご協力ありがとうございました。「会場が暑かった」という回答を多くいただきました。暑さ対策も含めて、皆様からのご意見を踏まえながら来年度の研修に生かしていきたいと思ひます。

なお、アンケートの記述欄に関しましては、スペースの関係上一部を抜粋させていただいておりますのでご了承ください。